

たくまだい

第2号
発行 熊本託麻台病院
編集 病院広報委員会

ごあいさつ

2025年問題を知っていますか？ - その1 -

『2025年、日本は超高齢者社会が到来する』このことは、メディアを通じて多くの国民が周知しています。しかし、この超高齢者社会がやってくることを、わたしたちは正しく理解しているのでしょうか？

超高齢者時代の認識として、今後、数十年高齢者は増え続ける 高齢化は過疎地中心 高齢化は全国共通 という3つの勘違いが含まれていると言われていています。65歳以上の高齢者は2015年を過ぎるとほとんど増えなくなり、2030年過ぎには75歳以上の後期高齢者は減り始めます。一方、高齢化率は上昇し、これから高齢化は都市部の問題となります。2010年から2025年にかけて全国では700万人の後期高齢者が増加しますが、実にその50%が首都圏、大阪圏、名古屋圏に集中しています。

特に重要な問題は、高齢者の世帯形態の推移です。人口問題研究所が、今後20年で世帯主が65歳以上の世帯は1355万世帯から1901万世帯へ急増し、しかも、単独世帯（独居）は2025年には35.4%、高齢者夫婦のみの世帯は31.2%となり、合わせると高齢者のみの世帯は、実に66.6%と全体の3分の2を占めることを報告しています。

また、認知症の増加も重大な問題です。平成24年厚生労働省は、認知症患者が65歳以上の高齢者の12.8%にも達するとの報告が出ています。2025年に待っていることは高齢化社会が都市部にやってきて高齢者世帯が3分の2を占め、特に独居世帯が3分の1となり、高齢者の8人に一人が認知症になるという現実です。2025年、わたしたちが住んでいる熊本市もほぼ同じ人口動態になると推測されています。

わたしたち医療の現場にいる者は、今、真剣に熊本の地域医療を話し合っています。地域の皆さんも話しに加わって頂ければと思います。もう地域全体で考えていく問題だと思います。



病院長 平田 好文

熊本託麻台病院は、来年5月には移転が完了し、新しいスタートをきる予定です。リハビリのスタッフや行うリハビリの内容に大きな変化はありませんが、病院が変わることで大きく変わる点があります。それは、病院の三つの病棟それぞれに専用のリハビリ訓練室が設置されることです。各病棟に訓練室があると、いままでのように大きな一つの訓練室を各病棟や外来の患者様が共用する場合と比べて空間の利用効率は多少悪くなりますが、それでも補ってあまりあるメリットがあります。まず思いつくメリットは、病棟という入院患者様の生活の場に訓練室があることで、日常生活動作の訓練などがより身近にやりやすくなることです。

しかしながら私たちが最も重視するメリットは、病棟に訓練室があり患者様を担当する様々な職種の病棟スタッフが日常的に患者様を取り囲むように接することによって、患者様に関するスタッフ間の情報交換、情報の共有がより濃密に、時間的な切れ間なく行えるようになることです。患者様の情報を担当スタッフ間でしっかりと共有することで、退院後のよりよい生活をみすえたきめ細かいリハビリが行えるようになると思います。もちろん我々にとってまだ未経験なことであり今後いろいろなノウハウを築く努力をしていかなければなりません。患者様の幸せ、よりよいQOLを願うのが病院のモットーになった、よりよいリハビリを提供していけるようになるものと信じています。



リハビリテーション科部長 大隈秀信

病院基本理念

わたくしたちは、地域の皆様が、安全に生き生きとした社会生活が送れるよう「ノーマライゼーション」の思想に基づき、保健・医療・福祉及び教育を実践します。

基本方針

1. 患者さま主体の医療を提供します。
2. 安全・安心の医療、看護ケアを提供します。
3. 信頼と期待の魅力ある病院をつくります。
4. 質の高い早期からのリハビリテーション医療を提供します。
5. 地域リハビリテーションを積極的に推進します。

建築状況のご報告

3月8日より新病院の建設が始まり、近隣の方々には大変ご迷惑をおかけしております。工事は順調に進んでおり、現在はまだ外観を見る事は出来ませんが、来年には足場が外されて外観を見る事が出来るようになる予定です。新病院1Fは外来診察室と受付事務、2Fは手術室、事務局、3階、4階、5階がそれぞれ、回復期、一般、亜急性期病床となる予定です。

また、移転に伴い病院名称も、熊本市の地域医療におけるリハビリテーション機能の充実と強化をはかる決意を込めて「熊本託麻台リハビリテーション病院」に変更となります。慣れ親しんだ「熊本託麻台病院」からの変更にあたり、職員からも公募を行い、最終的に9月の法人運営会議にて決定されました。



建築状況



2012.10.31 施設見学の様子

新病院開設に向けて

看護部副部長 猪本 伸子

国体道路を通るたび、ブルーシートがかけられた建物が高く、高くなっていきます。来年春、待ちに待った新病院が、お目見えです。

熊本の緑、阿蘇の大地、熊本城の白壁と黒瓦をイメージした外観、家庭的な柔らかさと仕事を機敏にこなすことをイメージした内装。全病棟にリハ室を備え、患者さんが廊下でも、屋外庭園でもリハビリに取り組みめるようまた、日々の入院生活が在宅とつながるようにと考え、設計に取り組みました。またスタッフが部署間を超えて、チームとして、機能的に、かつ安全に動けるよう何度も何度も話し合いを重ねて、一つの作品をみんなで完成しようとしています。あとは、この建物に入る中身です。ピーター・F・ドラッカーは言っています。



「仕事の量的な限界は、ある程度人数を増やすことで乗り越えられるかもしれませんが、しかし、質的な限界は、チームで相乗効果を出さなければ突破できないでしょう。」「組織はうまくいけばいくほど、チームを作る必要がある」と・・・これからの課題はいかに最強のチームを作り、考え、乗り越えなければならないかと言うことです。しかし、最も大事なことは、みんなが自分の病院とそこに働く人を「好き」になって、ともに頑張ろうと言う気持ちだと思います。来年度も新人を迎える事になります。新しい病院に期待をし、やる気満々で来るでしょう。その新人のためにも、外も、そしてその中身を裏切ることはいけません。

各部門活動紹介

チームで取り組む『栄養管理』

栄養管理部 科長 安達きみ子

今年4月からNST（栄養サポートチーム：Nutrition Support Team）を立ち上げご入院中の患者様の栄養管理を行っています。NSTは1960年代に欧米を中心に世界各地に広がったチームで取り組む『栄養管理』でありNutrition Support Teamの頭文字をとって『NST』と呼ばれています。

栄養管理は、基本的医療のひとつで個々の患者様の疾患に合わせて適切に実施することにより、全身状態の改善につながります。熊本託麻台病院のNSTは、それぞれの専門的な知識や技術を出し合い最良の方法で栄養支援を実施するために、『看護師、薬剤師、言語聴覚士などのリハビリスタッフ、管理栄養士、臨床検査技師、医療事務員』で構成し、毎週金曜日14：00からNST回診を行って患者様の栄養状態を評価、判定し、食事だけでなく経腸栄養法や静脈栄養法も含めた適切な栄養補給をどうするか検討することにより、患者さんの栄養状態を積極的に改善しています。このNSTの対象となる患者様の抽出のために、当院では栄養状態の程度を判定するの



に役立つ『血液検査のアルブミン値3.0g/dl以下』でまず評価していますが、アルブミン値以外に 食事の摂取量が少ない 体重減少がみられるチューブ（経腸栄養法や静脈栄養法）による栄養管理が行われている患者様などご入院中の全患者様が対象となります。これからも全スタッフで患者様の治療の一環として積極的に栄養管理に取り組んで参りますので宜しくお願い致します。

院内行事報告

9月21日部署対抗ミニバレー大会が熊本市総合体育館で開催され、全26チーム、177人参加で過去最多となりました。優勝はチームFortyNiners、おめでとうございます！



9月8日看護部懇親会が行われました。レクレーションとしてボーリングを行い職員間の親睦をはかりました。

9月27日熊本市東区安全運転管理者等協議会のモデル事業所として、感謝状が送られました。今後も法人全体で交通事故防止に努めていきます。



外来診療スケジュール

2012年12月

診療科		月	火	水	木	金	土
整形外科	午前	西郷 森	西郷 堀尾	西郷 森	森	西郷 森	---
	午後	堀尾	熊大医師	---		熊大医師	
リハビリ科	午前	大隈(再診)	小原 ---	大隈(再診)	堀尾 小川(再診)	大隈(再診)	担当医 (再診)
	午後		安川(再診)		安川(再診)		安川(再診)
内科 循環器科 消化器科	午前	飯田 宮瀬	宮瀬	飯田 尾崎	尾崎	飯田 熊大医師	熊大医師
	午後	尾崎		飯田		宮瀬	
脳神経外科	午前	平田	平田	---	村上	---	熊大医師 (第2週)
	午後	村上	---	村上	平田	平田	
消化器外科	午前	---	---	萩原	---	---	---
	午後	---	---	---	---	---	---
神経内科	午前	---	---	---	宇山	宇山	---
	午後	---	宇山	宇山	---	---	---
発達小児科 発達神経科	午前	---	---	---	---	---	---
	午後	熊大医師	---	---	---	---	---
特殊 クリニック	午前	---	---	---	---	---	---
	午後	---	禁煙外来	---	放射線診断	義肢装具 クリニック (第1・3週)	---

診療時間、休診日などが変更になる場合がありますので、ご来院の際は事前にお電話にてご確認下さい。

TEL 096-381-5111



医療法人堀尾会 熊本託麻台病院
〒862-0913

熊本県熊本市東区尾ノ上 1-14-27
TEL : (096) 381-5111

<http://www.horio-kai.or.jp>